



学校だより

令和3年2月26日
横浜市立豊田小学校
3月号

開く つなげる ともに

豊田小学校ホームページアドレス <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/toyoda/>

「夢に向かって！」 コロナに負けない豊田小

学校長



「コロナに負けない豊田小」というフレーズは、新型コロナウイルスの感染拡大という試練の中で、子どもたちから生まれ出た言葉です。振り返れば、5月、動画『思いやりの山』の配信に始まり、三密回避のポスター、コロナ手洗い替え歌、給食マンの名前募集、コロナ収束の歌と続き、後半になって、各学級、各種委員会活動を舞台に、子どもたちのエネルギーが勢いを増し、コロナ禍でも何とかしたいという思いが、次から次へと具体的な形となって展開されていきました。

2月下旬、その子どもたちを代表して計画進行委員会の6年生5人に、今年1年を振り返ってみて、今、思うところを聴いてみました。

- 今年、できることが少なくても、より積極的に取り組むようになりました。時間がない中だからこそ、集中してやりがいを感じることができたし、人に役立ちたいという気持ちが、強くなりました。
- 今年、やれることが少なくても、ただ今だから出来ることを考えていました。考えた結果は、何事にも、全力でやることだなと思いました。今年、一番がんばったのは、「交流活動アイデアブック」づくりです。
- コロナでいつもと違うことやできないことがいろいろあったけど、その中でも工夫して取り組むことができました。できることを見つけて、積極的に活動できたと思います。
- 話し合いで決まった活動に、全校が参加してくれたりしていると、やりがいを感じます。
- これからも、できないことが多いからこそ、できる事は全力で取り組んでいきたいと思っています。

ここから浮かび上がってくる共通することは、コロナ禍という限られた時間だからこそ、集中して工夫し、「今できることを、今しかできないことを全力で行うことで、やりがいを感じる。」ということでした。そのことを子どもたちと一緒に確認し合うと、その話に、深くうなずく子どもたちの真剣な姿がありました。

ご家庭でも、ぜひ、子どもたちと、このコロナ禍の中での1年間を振り返り、着実に成長してきた足跡を確かめていただければと思います。その成長への実感が、夢に向かって4月からの新しい学年への希望と意欲につながっていくように思います。

今年度、皆様から寄せられた豊田小学校の教育活動に対するご理解とご支援に深く感謝するとともに、来年度も引き続き、本校の子どもたちに温かな励ましのエールをお願い申し上げます。